

報道機関各位

2016年11月16日

ケニアの母子支援活動「Mother to Mother SHIONOGI Project」
診療所外来棟の開所についてのお知らせ

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、2015年10月に開始した日本とケニアのお母さんの健康を応援する Mother to Mother SHIONOGI Project*1（以下、「Mother to Mother」）の活動の一つとして、ケニア共和国ナロク県イララマタク地域にて診療所外来棟の建設に取り組んでまいりましたが、このたび11月8日に診療所（正式名称：Elangata Enterit Dispensary）外来棟の開所に至りましたのでお知らせいたします。

開所式には、主賓としてナロク県知事夫人や保健省担当官、国会議員をはじめとする地元関係者の他に、在ケニア日本大使館や長崎大学 在ケニア・アフリカ海外教育研究拠点からも来賓としてご出席いただきました。多数の地域住民も参加し、マサイ族の伝統的な踊りや歌、隣接する小学校の学生らによる歓迎のスピーチなどが披露され、式典を盛り上げていただきました。早速当日午後より診療が開始され、初日から多くの患者様にご来院いただきました。今後、この地域の医療に貢献することが期待されます。

「Mother to Mother」は、当社グループの総合ビタミン剤「ポポン®S」シリーズの売上高の一部と全社員からの寄付により、当地域の妊産婦・新生児・乳幼児の健康と医療面での自立をサポートするプロジェクトです。「ポポン®S」シリーズを介し、日本のお母さんの元気をケニアのお母さんに届けることを目的とし、この名前が付けられました。本プロジェクトは、国際 NGO ワールド・ビジョン・ジャパンの協力のもとで実施しています。

支援地であるイララマタク地域には約 14,600 人のマサイ族の人々が点在して暮らしており、何十キロと離れた診療所まで歩いて通院しなければならない現実がありました。

今までこの地域にあった診療所は非常に簡素で、ケニア保健省が設定する診療所の規模や医療の充実度でのレベル（1～6）では、全く施設がない場合のレベル1のひとつ上にあたるレベル2でした。このたび建設された新しい診療所は、さらに今後1年をかけて整備される産科棟や貯水タンクを装備することで、レベル3のヘルスセンターに認定される予定です。レベル3に認定されることで、ナロク県保健省からの医療スタッフ派遣や医薬品供給の優先度が上がり、医療サービスの充実とともに、支援地域の医療システムの自立に向けて前進することが期待されます。

以上

*1 :プロジェクト開始時のリリース(2015年10月15日):<http://www.shionogi.co.jp/whatsnew2015.html>

<Mother to Mother による支援事業の概要>

協力団体： 国際 NGO ワールド・ビジョン・ジャパン
支援地域： ケニア共和国 ナロク県 イララマタク地域



寄付金額： 2,000 万円を拠出（2016 年度）
期間： 2015 年 10 月～2018 年 9 月
支援内容： 病院の建設、巡回診療による基本医療の提供、現地保健省との連携、
医療従事者への教育、住民への啓発活動による地域の保健システム強化
URL：<http://www.shionogi.co.jp/company/csr/mtom.html>

<ワールド・ビジョン・ジャパンについて>

キリスト教精神に基づいて、貧困や紛争、自然災害等のために困難な状況で生きる子どもたちのために活動する国際 NGO。国連経済社会理事会に公認・登録された、約 100 カ国で活動するワールド・ビジョンの日本事務所です。<https://www.worldvision.jp/>

[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885 FAX : 06-6229-9596